

議会報告会を 8会場で、さまざまな

参加者の 主な意見

- ▶ 浸水対策の取り組みと避難場所の改善は
- ▶ バス路線の運行ルート改善を
- ▶ 福山城の知名度アップのため福山城駅に改名しては
- ▶ 学校再編の在り方は
- ▶ 認知症サポーターの取り組みは

問 浸水対策における行政の連携した取り組みは。

また、昨年の豪雨災害を経験して、避難場所は改善したのか。

答 福山市域における浸水対策協議会で取りまとめ、今年4月に公表したハード対策のうち、抜本的な浸水対策となる河川整備は、流域ごとに影響する関係市町や関係機関と、計画段階から連携して実施しています。

避難場所は、本市のホームページで最新の情報が閲覧できます。また、協定により避難場所として使用できる民間企業の施設も確認できます。

問 バス路線は、福山駅を起点として各方面へ運行しているが、それぞれ一方向のみの運行となっている。複数の方面を巡回するような運行にして利便性の向上を図ってはどうか。

例えば、鞆方面へ行く場合は鞆町が終点となるが、観光面からいうと福山駅と鞆、沼隈を循環してもいいのでは。

答 鞆と沼隈を循環するバス路線の敷設には鞆のまちなかの交通の課題があり、現在、トンネル整備による交通処理が検討されています。道路整備は観光面でも重要と考えています。

報告会開催の評価と参加者の年齢 (アンケートから抜粋)

評価する	184人	34.6%
まあまあ評価する	231人	43.5%
あまり評価しない	46人	8.7%
評価しない	2人	0.4%
無回答	68人	12.8%

議会報告運営委員会の所見

1会場当たりの参加者数は昨年より減少しましたが、どの会場も活発な意見交換がなされ、有意義な時間が持てたと感じています。

皆さまから頂いた多くのご意見や、アンケートの結果については、今後の議会活動に反映させていただきます。

なお、詳しい内容は、11月1日からホームページに掲載します。また、各公民館にも備え置きますので、ご覧いただけます。今後、より開かれた議会をめざして取り組みを進めます。

委員長 榊原則男